

# 丈夫がいいね

じょうぶ

■604



風邪予防の手洗いは冬だけでなく夏も徹底したい

六月以降、石川県内で急増している病気がある。子どもに多い夏風邪の一種、手足口病である。七月二十日までに確認された患者数は千二百人を超え、昨年一年間の約五倍に上る勢いだ。

## ● 手洗い徹底を

軽い発熱から発症し、その病名の通り、手や足口内に発疹が出る手足口病は、まれに脳炎や脳症などを合併するものの、ほとんどが軽症で一週間程度で治る。ただ、厄介なことに、他人にうつり

## 手足口病

やすいという特徴があり注意が必要だ。

「保育園や幼稚園、小学校など集団生活の場で

ウイルスというウイルス感染だ。かかった子ども

と経口感染することもある

も症状を悪化させないために大切だという。

# ウイルス感染も成長の一步

流行すると一気に広がる。周囲で流行しているかどうか気を配ってほしい」  
こう指摘するのは、金沢医療センター小児科の太田和秀医長である。手足口病の原因はエンテロ

気を付けたのは、熱や発疹など症状が治まっても、ウイルスの排出はのどから一二週間、便から三―五週間は続くということだ。だから、なかなか流行が収まらないのである。

子どもの夏風邪にはほかにも種類があり、三十九度前後の発熱が出る「プール熱」や、のどに炎症を起こす「ヘルパンギーナ」が代表的だ。いずれもウイルス感染によるもので、手足口病と同

「子どもの夏風邪にはほかにも種類があり、三十九度前後の発熱が出る「プール熱」や、のどに炎症を起こす「ヘルパンギーナ」が代表的だ。いずれもウイルス感染によるもので、手足口病と同